

「ナノ・マイクロ研究拠点における 産学連携と先端活用事例」

- ◆主催：4大学ナノ・マイクロファブ리케이션コンソーシアム
- ◆共催：川崎市、（公財）神奈川科学技術アカデミー
- ◆後援：川崎商工会議所、川崎市工業団体連合会、（公財）川崎市産業振興財団

4大学ナノ・マイクロファブ리케이션コンソーシアムは大学・地方自治体・産業界が連携する新しい形の研究教育拠点です。新川崎・創造のもり地区において、ナノ・マイクロスケールの微細加工、評価・解析の各設備を整備し、産業界への開放利用も推進しています。本シンポジウムでは、本研究拠点におけるナノ・マイクロファブ리케이션共用装置の先端的活用事例を紹介するとともに、時事話題のトピックスにつきまして、その分野でご活躍の方々からご講演をいただき、今後の産学連携テーマのヒントとさせていただく機会といたしました。現地での見学会も計画しています。新たなものづくり拠点に少しでもご興味がおありの方のご参加をお待ちしています。

会場

新川崎・創造のもり

K²タウンキャンパス 大会議室(川崎市幸区新川崎7-1)

開催日

平成28年3月29日(火) 13:00～16:40

参加費

無料

プログラム・講演者

オープニング	ナノ・マイクロ研究拠点における共用設備活用事例
13:00-13:05 開会挨拶 慶應義塾大学理工学部 教授 菱田公一	15:00-15:20 企業による装置の特徴紹介2 SCIVAX株式会社 取締役副社長 奥田徳路
13:05-13:10 来賓御挨拶 川崎商工会議所 副会頭 加治 秀基	15:20-15:40 レーザー描画装置とナノインプリント装置の活用事例 東京工業大学 准教授 山本 貴富喜
13:10-13:15 4大学コンソならびにNANOBIIC概要 東京大学工学系研究科 教授 三宅亮	特別講演
ナノ・マイクロ研究拠点における共用設備活用事例	15:40-16:25 秋田県立大学における木質系バイオファイナリー研究 秋田県立大学 副学長 小林淳一
13:15-13:35 企業による装置の特徴紹介1 Oxford Instruments 株式会社 田口 俊彰 Oxford Instruments社 ICPエッチング装置の特徴	4大学コンソーシアムの教育事業・支援事業における取り組み
13:35-13:55 ICP-RIEによる化合物半導体エッチングプロセスを利用したデバイス応用 東京工業大学 量子ナノエレクトロニクス研究センター 助教 雨宮 智宏	16:25-16:35 4大学コンソ機器設備を利用される企業皆様の事業化への支援 神奈川科学技術アカデミー 科学技術コーディネーター 唐澤志郎
特別講演	クロージング
13:55-14:40 日本とドイツが進めるインダストリー4.0の事例-オートメーション/IoT分野を中心として- ベッコフオートメーション株式会社 代表取締役社長 川野俊充	16:35-16:40 閉会挨拶 東京大学工学系研究科 教授 丸山茂夫
14:40-15:00 休憩	16:40- NANOBIIC見学(希望者)

参加申し込み方法：お名前、ご所属、見学会希望有無をご記入の上、メールにてお申込みください。

メール宛先：4dai-symp@4daigaku.com

web：http://4daigaku.com (4大学ナノ・マイクロファブ리케이션コンソーシアム)

http://open-labo.skr.jp (NANOBIICオープンラボ)